



予算編成 どのような考え、思いか

近藤 武議員

自治体間競争に打ち勝つ

市長



▲愛知県フットボールセンター愛西（早尾町）

問 令和6年度当初予算の基本的な考え方は。

答 社会保障関係費が年々増加している中、公共施設やインフラの適正規模・適正配置の検討、人口減少を見据えた地域共生社会を目指すとともに、地域の活性化を図るための施策に取り組む。

問 社会保障関係費が大幅に増加している。民生費の構成割合の推移は。

答 前年度と比較して、

約17億円増加し、41.3%から43.9%と2.6%増加している。

問 6年当初予算額は、前年度と比べ約24億円増加しているが、財源は。

答 5年度と比較し、国・県補助金で、約8億5800万円、地方債で、約4億9500万円の増額を見込んでいる。財政調整基金約16億2800万円を取り崩す。

問 歳出に充当する一般財源が前年度と比べ10億800万円増加している。何が増えているのか。

答 民生費で、約8億7100万円。次に大きな伸びとなっているのが、総務費で約1億8千万円、教育費で約1億円の増。

問 予算編成について、どのような考え、思いか。

答 市民生活に必要な行政サービスを安定的持続的に提供するとともに、市の魅力創出、地域活性化を図る予算とした。自治体間競争に打ち勝つための施策に取り組んでいきたい。

今後のスポーツ事業は

問 アジア・アジアパラ競技大会での変更点は。

答 一部の競技は変更には

なったが、ローイング競技は、長良川国際レガッタコースで開催予定だ。

問 愛知県フットボールセンター愛西の無料開放事業は。

答 週一回、平日の午前9時30分から午後1時30分までの時間帯で、市民の方へ検討している。

問 今後、地元との連絡調整などは、どのように考えられているのか。

答 愛知県サッカー協会において、令和5年9月から愛知県フットボールセンター愛西運営協議会が設立され、協議が進められている。

円滑な運営及び活性化を図ることを目的に年2回開催され、愛知県サッカー協会との情報交換や連絡調整などを行う。